

DTP CONTENTS WORKFLOW MONTHLY

* Contents *

01. InDesign CS3、[描画モードを分離] と [グループの抜き] の違い.....	4
02. InDesign CS 3 のオブジェクトメニュー [効果] を整理する	6
03. 電子書籍普及ヘルール作りは必要か	7
04. Illustrator CS3、プロファイル埋め込み画像は埋め込み！	8
05. ついったーに登録してしまったぞ、それでどうする？	10
06. Illustrator CS3、ダブルトーン画像は PSD で貼り込んでも OK?	11
07. InDesign から EPUB を書き出して iPhone で読めるか	13
08. アドビエコキャンペーンはダウンロード販売への序章か	15
09. Illustrator のリンク画像収集ソフト「DHT Image finder」	16
10. アドビ、Omniure (オムニチュア) SearchCenter の最新バージョンを発表	18
11. これだけでできる Illustrator CS3 印刷用 PDF 作成ハンドブックを作りました.....	20
12. Illustrator CS3、グレースケール変換で等幅文字は標準字形に戻る？	21
13. InDesign、2 行の目次用段落テキストを 1 行で目次にする方法.....	23
14. 最新ニュースピックアップ 2010.03	24

すべては平凡から始まる

先日、羽曳野市にあるスーパー銭湯にいった。「延羽の湯」というわりと豪華めの銭湯。大和川の支流にあたる石川に隣接した場所にある。少し遠いので 1 年半ほどまえに行ったきりで、そのあと訪れることがなかった。というのは、「延羽の湯」に行った後、目まいで倒れて入院する羽目になったので、あまり縁起がよろしくないからだった。

目まいで倒れたのはだいぶ前なので、そのことは忘れてもう一度行くことにした。手続きを済ますと、待合室の手前で誰かが店を広げていた。何人かがその前を取り囲み、なにやら話し込んでいる様子。のぞき込むと、相手を見てなにやら一筆書くらしい。

福詩家たろうという「詩人」だった。独特の筆使いで詩を書くだけでなく、画家が路上で横顔(プロフィール)を書くように、相手に合わせてその場で詩を仕上げるという。和紙や掛け軸にその場で書くのだ。費用は書くものによって違うが、数千円からというところか。

一筆書いて貰うのはやめにして、絵はがきを買った。一年三六五日の花言葉から連想した詩が書いてある。誕生日のハガキを買ったのである。

誕生花の日は諸説あり、花言葉も複数あるが、買ったものは「ぼけ」の花言葉「平凡」から

自分で平凡さに気付けたとき はじめて非凡のスタート。

と書かれていた。すべては平凡から始まるのだ。初心忘るるべからず。平凡さを知ってこそ、次のステップに踏み出せるのである。



01

iPhone がイベントツールに変わった東京マラソン

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.15

雨の中にもかかわらず盛況に閉幕した東京マラソンで、iPhone がイベントツールとして活躍した。イギリス人のジョセフ・ティム氏が3台の iPhone を使ってマラソンを実況したという。iPhone が多用途のツールとして真価を発揮した出来事だった。

ITmedia の記事によると、英国出身のティム氏が iPhone で行ったのは

リアルタイム動画配信 GPS 情報をネット配信 Twitter チェック用

となっている。残念ながら、iPhone はマルチタスクではないので、複数のアプリケーションを同時に起動するとはできない。同時に起動可能なのは iPod とメールの受信(おそらく)だけである。iPhone がマルチタスクに対応していれば、リアルタイム動画配信と GPS 情報のアップは1台でこなせただろう。iPhone のマルチタスク化は脱獄すると可能らしいが、現在は不可。近いうちに OS のアップデートでの実現を期待したい。

「リアルタイム動画配信」した Ustream の APP はおそらく USTREAM 公式の iPhone 用アプリである

Ustream Live Broadcaster

だろう。インストールはしたが、まだ使ったことがなかった。無料のソフトだが、ライブ映像を簡単に「www.ustream.tv」のサイトにアップできる。動画配信中に Twitter を利用できる「[TwitCasting Live](#)」という APP もある。Twitter との連携が前提だがこちらも無料。

「GPS 情報をネット配信」は、おそらく「GPS Tracker」という APP を使っていると思われる。iPhone の GPS 情報をトラッキングできるソフトは4つくらいあるらしいが、無料のソフトは「GPS Tracker」だけのようだ。「GPS Tracker」は配布先の Web サイトにログインすると移動時の GPS の軌跡を Google Maps で確認することができるようだ。

「Ustream Live Broadcaster」の驚異は、以前から語られていた。iPhone だけで動画のストリーミングが簡単にできてしまうからだ。メニューが英語だというのが多少の壁にはなるにしても、コミュニケーションツールとして普及しそうだ。ただし、音声は結構遅延する。セミナーなどをしてライブ配信するにはすこしつらいかもしれない。

このソフトが無料なのは、Ustream が iPhone からの動画を集めることで、動画配信サイトのポータルを目指しているからだろうが、東京マラソンなどのイベントでこれらも露出が増えていくことは間違いない。そうすると、iPhone で普通にビデオで撮影して YouTube にアップするより、Ustream を使うユーザーは増えるかもしれない。

東京マラソンはマスコミ各社で大きく取り上げられたが、iPhone を活用したマスコミはいなかったのではないか。日本人のフリーのマスコミ関係者も、このような使い方をしなかったのは、いささか残念だ。

この驚異の活用方法は、こうしたイベントで取り上げられたことで、これらのビジネスシーンでいろいろと活用されていくことになりそうで

ある。というより、iPhone アプリを使って話題性を引き出していくと、イベントやセールスプロモーションの注目度は高くなるのではないか。

ネットを含めたプロモーションでは、動画のリアルタイム配信などはななり有効だろう。また映画やドラマの撮影風景を公開前に、差し障りのないようにリアルタイム配信して、ユーザーを事前に囲い込むというようなことも可能になってくる。

これから広告代理店や企画会社、印刷会社も含めて、iPhone をアイキャッチにした企画がはやりそうである。「Ustream Live Broadcaster」だけではなく、iPhone は広告・広報ではキーガジェットになりそうである。おそらくプロモーション用に APP を独自開発して配布することも当たり前になっていくに違いない。

◆走りながら Ustream 配信東京マラソンに“実況ランナー”
[ITmedia]

<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1002/28/news002.html>

◆個人でさくっと生中継—iPhone アプリ「TwitCasting Live」と「Ustream Live Broadcaster」 [Yahoo!JAPAN ニュース]

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100219-00000008-inet-inet>

◆ iPhone GPS とアプリでトラッキングログ（軌跡）の取得を試みた [Tagchan's Blog]

http://www.tagchan.net/blog/2008/08/iphone_gps_tracking.html

02

InDesign CS3、[描画モードを分離] と [グループの抜き] の違い

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : InDesign トピック : 2010.3.1

InDesign CS3 から効果メニューが大幅に拡張された。CS2 では「ドロップシャドウ」と「境界をぼかす」しかなかったが、CS3 ではシャドウ、光彩、ベベルとエンボス、サテン、方向性のぼかし、グラデーションのぼかしが追加されている。最初に透明の [基本描画モード] のウィンドウがあり、[描画モードを分離] と [グループの抜き] の設定もそこに置かれている。

透明の [基本描画モード] は、それぞれの効果と完全に独立したパネルではない。たとえばドロップシャドウでは描画モードに「乗算」が指定されているので、[基本描画モード] で「スクリーン」を指定しても無視される。ドロップシャドウパネルの設定がイキになるのだ。しかし、[基本描画モード] で不透明度で指定すると、二重がけになる。[基本描画モード] で不透明度「80%」にして、ドロップシャドウを適用すると、さらに「75%」の不透明度が適用されて「60%」になるのだ。不透明度については、注意して使いたい。

[基本描画モード] 設定で一番ややこしいのは

描画モードを分離

グループの抜き

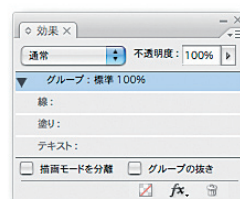
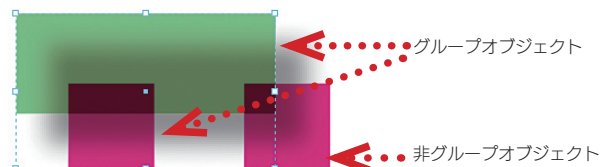
の設定だろう。わかってしまえば、簡単な設定だが、バルーンでの説明文はほとんど意味不明ではないか。[描画モードを分離] ではどのように説明されているかというと、

グループを超えて描画モードが適用されることを防ぎます

とある。グループというのは、グループされたオブジェクトのこといい、[描画モードを分離] を

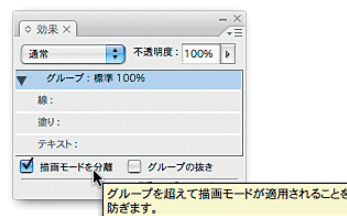
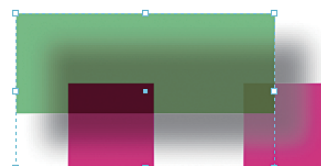
チェックするとグループ化されていないオブジェクトへの描画モードの適用がキャンセルされる。

[描画モードを分離] [グループの抜き] オフ



* グリーンのオブジェクトのみをダイレクト選択ツールで選択し、ドロップシャドウと不透明度を適用した。[描画モードを分離] と [グループの抜き] をオフにしていると、グループに関わりなく、描画モードと不透明度が適用される。左側の赤いオブジェクトがグループ化されたもの。左側がグループ化されていないもの。

[描画モードを分離] オン、[グループの抜き] オフ



* [描画モードを分離] をオンにすると、グループ外のオブジェクト上のドロップシャドウが乗算になっていないことがわかる。なお不透明度はそのまま適用されている。

たとえばドロップシャドウを適用したオブジェクトの下に2つのオブジェクトがあるとする。1つはドロップシャドウオブジェクトとグループ化してある。[描画モードを分離] をオンすると、

グループ化されていないオブジェクトには乗算は適用されない。ドロップシャドウの影は作成されるが、背面のオブジェクトは透過しないのである。ということはバルーンの説明では

グループ化されていないオブジェクトに描画モードを適用しません

と書いてくれるとわかりやすいと思うのだがどうだろう。「グループを超えて」という言葉がすぐさま「グループ外のオブジェクト」だと理解するのは簡単ではなさそうだ。ヘルプには「選択したオブジェクトグループにだけ描画モードを適用」と書かれていて、まだそちらの方がわかりやすい。

「グループの抜き」は同様にバルーンの説明は意味不明ではないか。バルーンの説明には

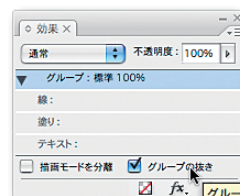
グループ要素がお互いに表示されることを防ぎます

とあるが、「グループ要素がお互いに表示される」という言葉はいったいどこから出てきたのか、首をかしげたくなる。そのまま直訳か。それにしても、よくできた翻訳とは到底いえない。[グループの抜き]は[描画モードを分離]とは概ね反対の意味があり

グループ化されているオブジェクト同士で描画モードと不透明度を適用しません

という方がわかりやすい。[描画モードを分離]は描画モードのみだが、[グループの抜き]は描画モードと不透明度に対応する。要するに、グループ化したオブジェクトがあって、その中の1つのダイレクト選択ツールで選択しドロップシャドウを適用したとき、[グループの抜き]をオンにしていると同一グループ内オブジェクト同士では描画モードと不透明度をキャンセルするのだ。

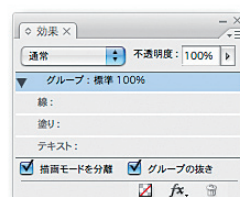
「描画モードを分離」 オフ、「グループの抜き」 オン



グループ要素がお互いに表示されることを防ぎます。

* 同一グループでの不透明度がキャンセルされている。ただし、ドロップシャドウ部分の不透明度はそのまま適用されている。グループ外のオブジェクトの不透明度はキャンセルされないで、前面に配置されているように見える。

「描画モードを分離」 オン、「グループの抜き」 オン



* 両方をオンにすると、グループ外オブジェクトにドロップシャドウの乗算が適用されなくなる。オブジェクトとドロップシャドウの影部分の不透明度のみが適用される。グループ内オブジェクトはオブジェクトの不透明度とドロップシャドウの乗算がキャンセルされている。

要するに、特定のオブジェクトにのみ描画モードを適用したいときは、グループを使って「描画モードを分離」を指定する。特定のオブジェクトに不透明度を適用したいときは、[グループの抜き]を使うのである。したがって、特定のオブジェクト同士のみで描画モードや不透明度を使い分けないのであれば、これらの機能は使うことはない。

ヘルプには、どのような状況のときに「描画モードを分離」と「グループの抜き」を使うのかという「目的」が欠落している。InDesignをもっと普及させたいのであれば、「なんのための機能か」という要素もヘルプでわかるようにするべきでないだろうか。

03

InDesign CS 3のオブジェクトメニュー【効果】を整理する

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : InDesign トピック : 2010.3.2

InDesign CS3以降でオブジェクトメニューの効果が大幅に強化された。メニューが多すぎて使いこなすのが難しいのが難点だろう。そこで「DTPオカジオネル」次回のInDesignの連載記事「これは便利！ InDesign CS3 おいしい機能をつまみ食い」で効果メニューの使い方を整理した。

前回、効果メニューの[描画モードを分離]と[グループの抜き]の違いを取り上げたが、その理由はオブジェクトメニューの効果を調べていたからである。[描画モードを分離]も[グループの抜き]も普段は使わない機能なので、あまり興味がなかったが、オブジェクトを作成していろいろ試してみたのである。英語の説明を日本人向きに意訳するのはなかなか難しそうである。

さて、InDesign CS3の効果メニューには9つのメニューが用意されている。共通しているオプション機能には

ノイズ / チョーク / スプレッド

がある。ノイズはドロップシャドウの影部分の階調をランダム化して、ノイズのように見せるものである。かけすぎは禁物だが、軽くかけるとけっこう効果的なオプションである。

[スプレッド] と [チョーク] は基本的には同

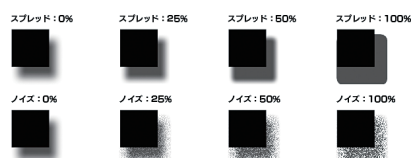
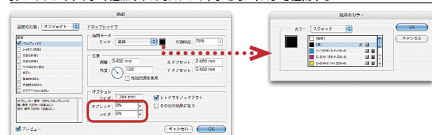
じものである。同じというのは、指定する対象が異なるだけで、効果としては同じなのである。簡単に言うとオブジェクトの外側におかれた効果には「スプレッド」が使われ、オブジェクトの内側におかれた効果には「チョーク」が使われるのだ。

つまり、外側に影を作成する[ドロップシャドウ]には「スプレッド」があり、オブジェクトの内側に影を作成する[シャドウ (内側)]には「チョーク」が置かれているのである。

スプレッドとチョークというのは、トラッピングするときに使用する言葉である。オブジェクトを太らせる場合に「スプレッドトラップ」といい、背面のオブジェクトを縮める場合に「チョークトラップ」という。スプレッドは広げることをいい、チョークには塞ぐという意味がある。[スプレッド]と[チョーク]はパーセントで指定する。パーセントを大きくすると、効果に適用された透明部分が小さくなっていく。「50%」では半分に、「100%」では透明が失われるのだ。[スプレッド]とか[チョーク]とは言わずに「透明の幅」といった方がわかりやすいかもしれない。

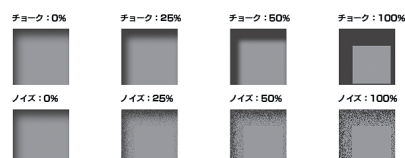
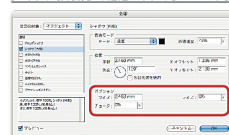
効果メニューの設定は実際に、オプションも含めて効果を適用した見本があれば、理解はたやすい。ヘルプでも見本のショットを並べれば、テキストでの解説はほとんど不要ではないだろうか。

[ドロップシャドウ]で追加された[スプレッド]と[ノイズ]を適用する



影をクリックさせたいときは[スプレッド]を大きくします。[ノイズ]は大きくすると目立ちすぎようになります。[シャドウ]をノックアウトはオフにしても背面のオブジェクトには影響しないようです。[その他の効果を使う]もチェックしても別の効果で指定したスプレッドやノイズが反映されることはないようです。

[シャドウ (内側)]で追加された[スプレッド]と[ノイズ]を適用する



[チョーク]幅を大きくすると、境界線からぼかしが適用されなくなります。「100%」にすると、シャドウが完全に失われます。[ノイズ]もドロップシャドウの[ノイズ]と同じで、内側の影にランダムなノイズが追加されます。[シャドウ (内側)]の[ノイズ]は「25%」以下で適用するほうがいいでしょう。

04

電子書籍普及へルール作りは必要か

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.3

アメリカでのキンドル (Kindle) の普及に後押しされて、日本でも電子書籍への期待が高まりつつあるようです。総務、経済産業、文部科学の3省が日本国内でのルール作りに乗り出しました。官民合同で研究会を発足させるようです。

この研究会の目的は

国内ルールを整備**日本企業による電子書籍ビジネスの後押し****中小・零細の出版業者の保護**

となっています。おそらく本音は「中小・零細の出版業者の保護」でしょうね。もし急速に電子書籍が普及し、書店で販売している書籍が売れなくなったら大変ですから、研究会を立ち上げて国としては対策をとっているという「姿勢」を見せるという程度でしょう。

「国内ルールの整備」については「ネット配信する電子書籍のデータ形」「コピー制限」「一時的な無料閲覧」をルール化するとしています。こういうものを研究会でルール化しても、ほとんど意味がないでしょう。こういうものは最終的にマーケットで決まっていくものです。国が「これがいい」と電子書籍のファイルフォーマットを決めてもユーザーがそっぽを向けば、形骸化するのは確実。「コピー制限」でも出版社は、電子書籍はコピー制限無しで配布してもリアルな書籍が売れるとなったら、コピーに制限なんかしませんよ。

だいたいこの研究会が最初から考え違いをしているのは、電子書籍は日本ではもうとっくに普及しているという現実です。Kindle = 電子書籍ではありません。日本で普及している電子書籍は

ケータイショウセツ

ですよ。あれだって立派な電子書籍ですね。なんかほんとうに、書籍の形態にこだわりすぎ。

それぞれの省の官僚たちはそんなことはきっと百も承知なんでしょうが、「中小・零細の出版業者」からの声が大きくなってきたため、研究会を立ち上げることにしたのでしょう。要するに「ガス抜き」というわけ。関係者が集まって議論していく中で、ルール化の意味のないことが理解されていくに違いありません。

いずれにしても、出版社が書籍を作って流通に流すことが仕事だと思わずにも「コンテンツのマネジメント」をする会社という意識に変わっていかないと、大も中小も先は細っていくしかなさそうです。書籍という形で提供されていた「コンテンツ」を多角的にプロモーションしていく企業に変わっていく必要があります。もし出版社がそういう意識を持っていれば、電子書籍をルール化する研究会なんて役に立つどころが邪魔であることに気がつくと思いますけどね。まあもともと、再販化のぬるま湯の中でしのぎを削ってこなかった出版社には無理かもしれませんけどね。

そういう意味では、電子書籍の普及は、出版社以外の企業が出版業に参入するいい機会かもしれません。

◆電子書籍普及へルール作り、流通や著作権研究へ [読売新聞]
<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20100303-OYT1T00077.htm>

◆ Kindle や iPad で普及が進む電子書籍と印刷書籍は共存できるか [DTP-S ブログ]
<http://dtp-s2.seesaa.net/article/140027378.html>

05

Illustrator CS3、プロファイル埋め込み画像は埋め込みめ！

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/>：Illustrator トピック：2010.3.5

Illustrator CS3 に貼り込む画像のフォーマットはどのようなものがあるのでしょうか。CS/CS2 と違って、EPS 画像を貼り込んでも分割されていないが、実画像を表示したいときは PSD を貼り込むのが基本だろうか。PSD でなくても TIFF でもかまわない。

画像を貼り込むときにややこしいのは、やはり PSD 画像に ICC プロファイルを埋め込んであるときだろう。埋め込みプロファイルと Illustrator のカラー設定にある作業用スペースが一致しないときはそのまま貼り込まれるが、プロファイルが異なるときは、カラーマネージメントして貼り込むことができる。



* 画像の埋め込みプロファイルと Illustrator の作業用スペース（あるいは割り当てたカラースペース）が異なる場合にこのアラートが表示される。

カラーマネージメントして貼り込むには、まず、カラー設定の「プロファイルの不一致」で「開くときに確認」がチェックされていなければならない。そして、画像を貼り込むときの「埋め込まれたプロファイルの不一致」で

作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用する

を選択すると、Illustrator に埋め込みプロファイルが反映される。これで埋め込みプロファイルでカラーマネージメントできると思いきや、一旦保存して再度 Illustrator ドキュメントを開くと、またまた「プロファイルの不一致」のアラートが表示されるのである。そのときに

埋め込まれたプロファイルを破棄（カラーマネージメントしない）

を選択すると、埋め込みプロファイルはキャンセルされるのである。したがって、画像の埋め込みプロファイルを生かしたままするためには、ドキュメントを開くためたびに「埋め込まれたプロファイルの不一致」で「作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用する」を選択する必要がある。困ったことに、埋め込みプロファイルを保持した貼り込み画像の数だけ、このアラートは表示されるのである。

ここで困ったことは「埋め込まれたプロファイルを破棄（カラーマネージメントしない）」した画像である。破棄しているにもかかわらず、Illustrator ドキュメントを再度開くときに「埋め込まれたプロファイルの不一致」で「作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用する」を選択すると、埋め込みプロファイルが割り当てられるのだ。

「埋め込まれたプロファイルの不一致」のアラートではファイル名はわからないので、保存時にプロファイルを破棄したのか使用したのかはわからない。つまり、埋め込みプロファイルのカラーを貼り込み時に、破棄と使用を使い分けることができないのである。使用するのであればすべて使用する。使用しないのであればすべて破棄するしか

ないのだ。

例外は、PDF で保存することだ。PDF で「プレス品質」を選択してプロファイルを保持せず作業用カラスペースで書き出すと、みたままをPDF にできる。破棄と使用を使い分けてPDF にすることができる。ただし、Illustrator 編集機能を保持してPDF 保存したものを、Illustrator で開くと同じように「埋め込まれたプロファイルの不一致」のアラートがすべての埋め込み画像で表示されてしまう。

結局こうなると、Illustrator でカラー設定に合わせて異なるプロファイルをカラーマネージメントして貼り込むには、プロファイルを使用して貼り込み、そのまま埋め込み画像にするしかない。画像を埋め込むとカラーマネージメントが確定するからである。ということは、あとから CMYK を変更するという使い方は難しい。すべての埋め込み画像は、プロファイルを使用して貼り込むことにしていれば可能だが、けっこう面倒そうだ。

もう1つ面白い現象がある。というのは、ファイルメニューの「配置」で貼り込んだ場合と、画像ファイルを Illustrator にドラッグして貼り込んだときのアラートが異なるということである。

アラートは

プロファイルの不一致（ペースト）

という名前で、この場合、[ソース] の ICC プロファイルを認識しないのである。1つの画像ファイルなのにプロファイル名を表記せず「複数」と表示するのである。もちろん

変換（カラーアピアランスを保持）

を選択すると、カラーマネージメントして貼り込まれる。もちろん貼り込んだ後は、配置メニューと同じ。要するとドラッグして貼り込むと、画像ペースとしたのと同じ扱いになるということだろう。プロファイルを確認するためには、埋め込み画像を貼り込むときはドラッグではなく、配置を使うべきだろう。



* 「Japan Color 2002 Newspaper」を埋め込んだ画像を1つだけドラッグした。[ソース] が「複数」になっている。

06

ついったーに登録してしまったぞ、それでどうする？

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/>： 日記：2010.3.6

猫も杓子も Twitter になってしまった。「Twitter の利用率は 8.2%」というではないか。このブームがいつまで続くのかはわからないが、どうなるかわからないので登録しておくことにした。

だいぶ前に Twitter の招待メールをいただいた。まあハンドルネームだけで招待されても、よくわからないのでそのときは登録しなかった。登録して知り合いであることがわかった（ありがとね）。新しいことには、けっこう反応が遅いのだ。mixi のときもそうだったが、はじめるまでの助走が長いのである。やっぱり、歳かも。もう 51 才だからな。

mixi もいまは閑古鳥がなくて、ホームページを開くことはほとんどない。iPhone を買ったときは、mixi の iPhone 関係のコミュニティをよく覗いていたが、それももうあまりしなくなった。mixi もアプリケーションを増やしたり招待制を止めたりしてユーザーの固定化に頑張っているが、逆に言うとそうしなければ、ゴーストユーザーが増えていくだけだからだろう。

Twitter も数年すると忘れられてしまうのではないかと考えていると、登録するのは面倒になってしまう。Web サイトをアップして、ブログも更新して、mixi に日記を書いて、Twitter にも呟くなどという細かい芸当はなかなか難しい。そういうのが義務化していくと、ばかばかしくなってしまう。

いっても、Seesaa ブログでもブログタイトルと URL をそのまま Twitter にアップする機能もついていて、Twitter 包囲網はぞくぞくと強化されつつある。となるとながいものに巻かれてしまうしかない。いくらブームだと言っても数年は続

きそうだし、そのうち新しいコミュニケーションツールが生まれて世の中の趨勢はそちらに向かうにしても、Twitter がなくなるとは限らない。

もっとも Twitter に登録しても、フォローが増えるような気の利いたことをつぶやけるかどうかはわからない。そういうのも、ま、才能だからである。数行の文章で気を引けるような言葉を紡ぎ出せるのであれば、Twitter は大いに有効だろうけどね。

まあいずれにしても、Web の世界はアクセスがすべて。多くの人が Twitter に目を向けているのであれば、参入するしかないのかも。

Twitter のアカウントは「jink0222」です。

◆ Twitter の利用率は 8.2% 富士通総研調べ

<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1003/02/news031.html>

07 Illustrator CS3、ダブルトーン画像は PSD で貼り込んでも OK?

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.9

Photoshop で作成したダブルトーン画像は EPS で貼り込むのが基本だ。PSD で保存すると Illustrator に貼り込むことができない。しかし、Illustrator CS3 以降は PSD でもダブルトーン画像を貼り込むことができるようになった。それでは、CS3 以降はダブルトーンは PSD で貼り込んでも大丈夫だろうか。

CS2 にダブルトーン画像を貼り込むと、特色はスウォッチに反映される。ダブルトーンで作成したかけ合わせも特色の扱いになる。ダブルトーンのカラーの中で特色にならないものがある。それが

プロセスベタ

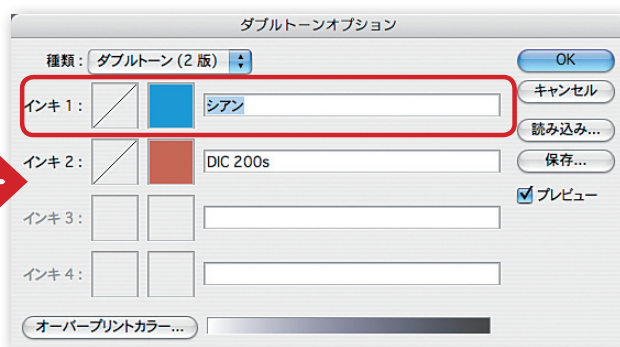
の指定である。「シアン 100%」とか「マゼンタ 100%」などである。これらのプロセスカラーのベタ指定は、Illustrator はプロセスカラーとして認識するのである。

ダブルトーン画像で特色を扱う場合でも、プロセスカラーで代用することが多かった。特色 2 色で印刷する場合でも、シアンとマゼンタや墨版で指定して、使用したプロセス版のみを分版するのである。出力する側から言うと、プロセスで版を指定する方がトラブルが少なくてすむ。

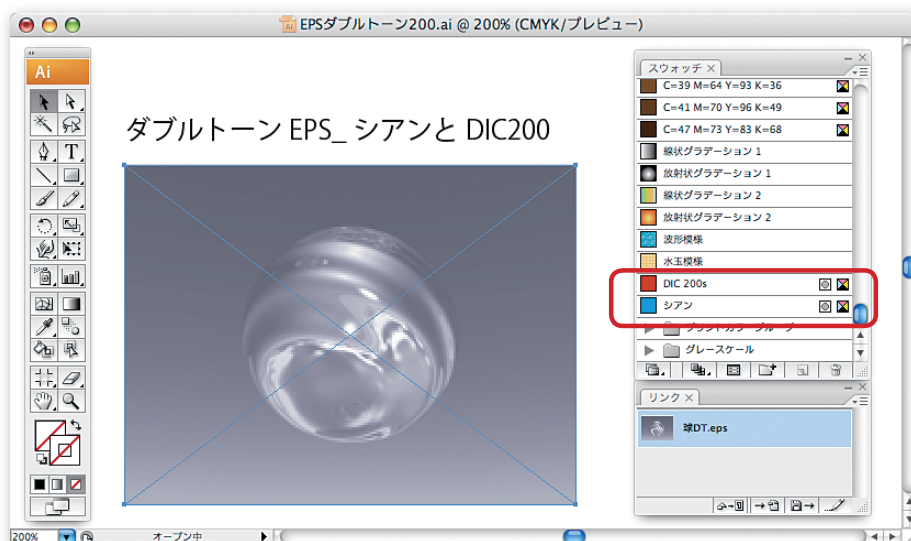
プロセスベタを指定したダブルトーンは、Illustrator に貼り込んだときそのままプロセスカラーとして認識される。だから実際の印刷は特色であっても、ダブルトーン画像にプロセスベタを指定し、Illustrator 上でもプロセスカラーで指定することが可能だった。

Illustrator CS3 から、PSD 形式でもダブルトーン画像を貼り込むことが可能になった。PSD のメリットは実画像を表示できることだ。CS 以降は EPS でなくても、Photoshop から PDF 保存してもダブルトーン画像は貼り込める。しかし、Adobe は貼り込み画像に Photoshop 形式を推奨している。ダブルトーン画像のみを PSD ではなく、EPS や PDF にするのは煩雑であり、CS3 になってダブルトーン画像の PSD 貼り込みに対応することになったのだ。これで、カラーもグレイもダブルトーンも PSD で貼り込めばよいことになる。

ところが、PSD でのダブルトーン貼り込みには、落とし穴があった。Photoshop でプロセスベタのダブルトーンを貼り込むと、Illustrator 上でプロセスカラーとして認識しないのである。特色のままスウォッチが生成されてしまう。PDF で保存しても、プロセスベタにはならず、特色のままになる。



* Photoshop CS3 で作成したダブルトーンのプロセスベタ。「シアン」と自動的にテキストが入力される。

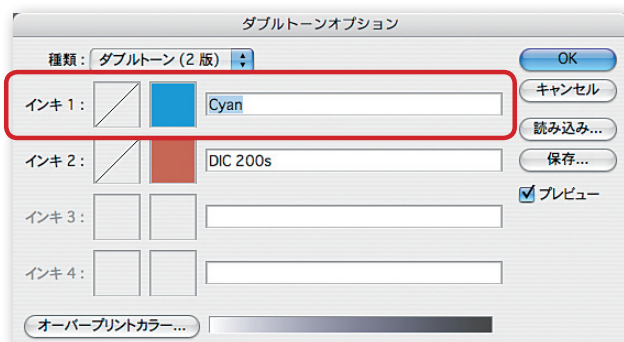


* EPS で貼り込んだダブルトーン画像。「シアン」と「DIC 200」を指定したもの。「シアン」に特色のアイコンが付いている。

CS3 以降、ダブルトーン PSD には対応したが、プロセスバタには対応できなかった。これでは効果半減である。と思いきや、ダブルトーンのプロセスバタに対応してないわけではなかった。

Photoshop のダブルトーンでプロセスバタを作成すると、自動的にインキ名が追加される。実はこの自動入力されるインキ名が非対応なのである。シアンバタだとインキ名は「シアン」とカタカナでインキ名が入力される。これを英文表記にして「Cyan」と書き換えると、プロセスバタのダブルトーンは Illustrator でも認識可能になるのだ。Adobe のサポートによると、これは Illustrator の「仕様」らしい。

なお、EPS のダブルトーン貼り込みでは、カタカナ表記でもプロセスカラーとして認識される。プロセスカラーとして認識させず特色にしたいときは、「Cyan」「シアン」ではなく、「C100」などの別の名前にすればよい。



◆ダブルトーンのプロセスカラーが特色で追加される (Illustrator/InDesign CS3-CS4) [Adobe サポート]
<http://kb2.adobe.com/jp/cps/236/236096.html>

* Photoshop CS2 でもシアンバタのダブルトーンを作成すると「シアン」と自動入力された。CS4 でも直っていないようだが、CS5 では直るかも。

08

InDesign から EPUB を書き出して iPhone で読めるかDTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.10

InDesign は CS3 以降、Digital Editions 用のファイルを書き出すことができるようになりました。ファイルメニューの [Digital Editions 用に書き出し] でドキュメントを書き出すと、EPUB (イーパブ) で書き出すことができます。EPUB 形式のファイルは Stanza などの iPhone 用の電子書籍リーダーで読むことが可能です。

InDesign からのマルチユース書き出しでは、Flash の書き出しはよく知られていますが、EPUB の書き出しはあまり知られていません。iPad の登場で電子書籍に大きな注目が集まり、Digital Editions にも関心が集まっているようです。

Digital Editions は Adobe 製の無償の eBook リーダーです。むかしの Acrobat eBook Reader の仕切り直し版です。最初は Acrobat Reader で「eBook」という形式の電子書籍を読むというやり方だったわけですが、電子書籍リーダーとして専用ソフト、「Digital Editions」をリリースしました。

Digital Editions は 2 つのファイルフォーマットに対応しています。

**PDF
EPUB**

です。PDF は基本的に PDF/A に対応しています。PDF であれば開くようですが、CMYK の PDF/X などを開くと透明部分のカラーが変わってしまいました。モニタ閲覧用なので、RGB の PDF が基本ということのようです。

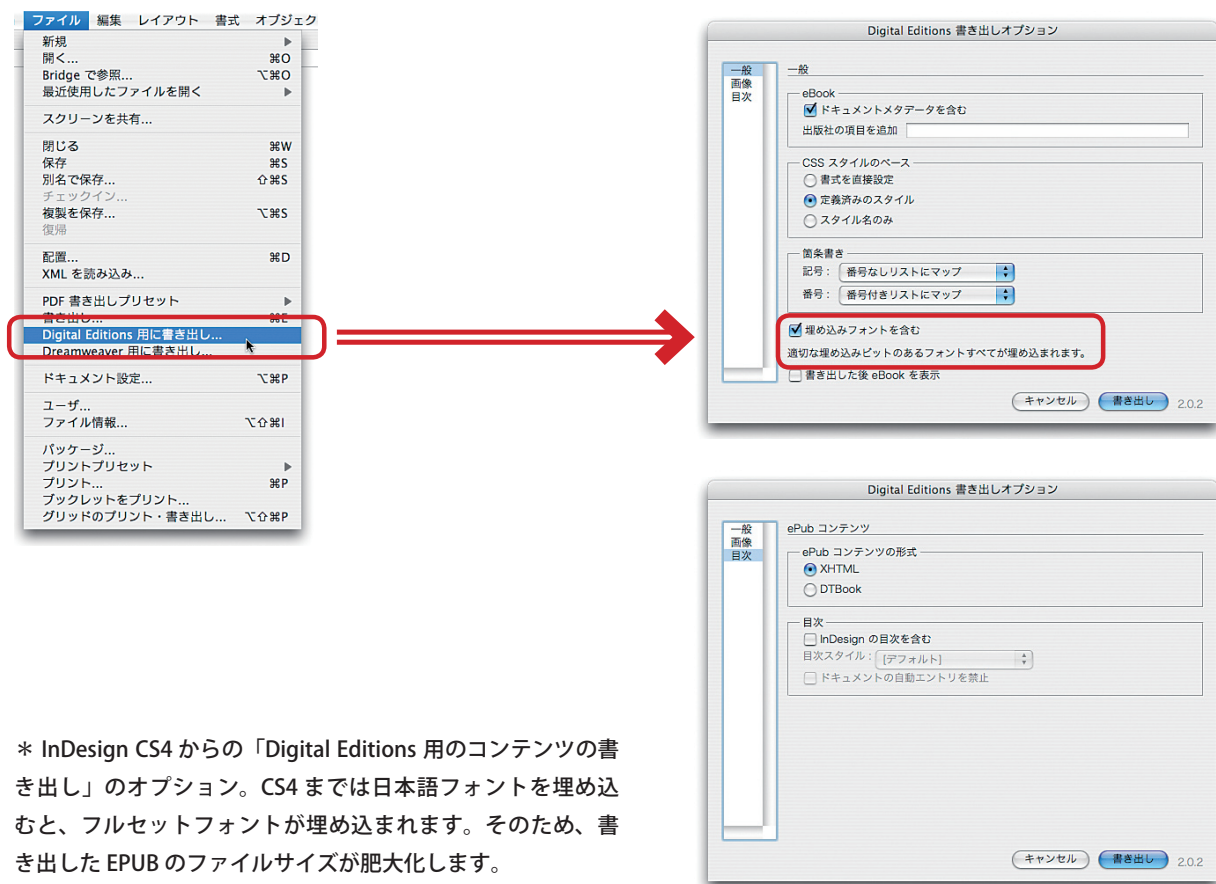
EPUB は電子書籍の 1 つのファイルフォーマット

ですが、複雑な処理をせずに XML をベースに書き出したものを読むというシンプルな構造です。したがって、EPUB の書き出しも読み込みも汎用性があり、もっとも普及しそうな電子書籍フォーマットの 1 つといえそうです。

livedoor ニュースにある「出版業界の新しいスキル！電子書籍のつくりかた」という記事を読むと、けっこう InDesign から電子書籍を書き出したいという要望が多く、EPUB への関心が高まっていることがわかります。書き出した EPUB は、Digital Editions だけでなく、Firefox のアドオンでも読むことができます。

もちろん XML (もう少し詳しくいうと「XHTML/XML+CSS」らしい) を読むだけなので、レイアウトはできません。タグ付けされているテキストを専用ブラウザで読むという程度ですね。EPUB の作成はそれほど難しくないのですが、必ずしも InDesign でする必要はないのですが、InDesign ユーザーにとっては、InDesign から簡単に EPUB が書き出せれば、コンテンツのマルチユースがし易くなるというメリットがあります。

ただし、InDesign にある [Digital Editions 用に書き出し] すると、文字化けしたりするようなトラブルもあるようです。詳しくは InDesign CS4 のユーザーガイド「Digital Editions 用のコンテンツの書き出し (eBook)」のコメントを参照にしてください。InDesign の勉強部屋の森さんが、段落スタイルと CSS について検証されています。なお、[Digital Editions 用に書き出し] は CS3 からの機能ですが、CS4 のほうが安定していそうです。



* InDesign CS4 からの「Digital Editions 用のコンテンツの書き出し」のオプション。CS4 までは日本語フォントを埋め込むと、フルセットフォントが埋め込まれます。そのため、書き出した EPUB のファイルサイズが肥大化します。

おそらく InDesign で EPUB を書き出すには、専用にレイアウトした方がいいでしょう。既存のレイアウトを流用するには無理があります。レイアウトを流用したいときは、PDF にするしかないでしょう。また、6 ページくらいのテキストだけのドキュメントを EPUB にしたら、10MB 位になってしまいました。やっぱり埋め込みフォントのせいでしょうかねえ（サブセットではないような感じ）。日本語フォントは埋め込めないと使えないとしたら、ファイルサイズもけっこう大きくなるかも。

これからは電子書籍だけですませるコンテンツは増えていくでしょう。InDesign から EPUB 書き出しのノウハウは必須になるかもしれません。ちなみに、iPhone の Stanza に InDesign から書き出した EPUB を取り込もうとしましたが、エラーで読み込みませんでした。もうすこし検証するしかないようですね。

PS.InDesign CS5 からは EPUB の埋め込みフォントはサブセット書き出しになります。

◆出版業界の新しいスキル！電子書籍のつくりかた【プロに学ぶ 67WS 通信】[livedoor ニュース]
<http://news.livedoor.com/article/detail/4649498/>

◆EPUB [Wikipedia]
<http://ja.wikipedia.org/wiki/EPUB>

◆Adobe Digital Editions 1.7.2
<http://www.adobe.com/jp/products/digitaleditions/>

◆iPhone の電子書籍リーダー Stanza [外部記憶]
http://masayuki.boj.jp/wp/archives/2009/01/_stanza.html

◆Digital Editions 用のコンテンツの書き出し (eBook)
 [InDesign CS4 のユーザーガイド]
http://help.adobe.com/ja_JP/InDesign/6.0/WS032BF3B3-6DF2-4544-9017-3AD3160F6C65a.html

09

アドビエコキャンペーンはダウンロード販売への序章か

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.11

アドビストア限定で「エコキャンペーン」というセールを行っていることをご存じだろうか。バージョンアップ対象外のアプリケーションを持っているユーザーに対して、最新版を割引引き販売する企画である。もっともこのブログを読んでいる方にはあまり関係のなさそうな話である。

「エコキャンペーン」という理由は2つあって

- ・ダウンロード販売でパッケージやメディア不要
- ・植林や里山保全に関する人材育成を行っている財団法人に売り上げの1%を寄付

するという。対象となるアプリケーションは

Photoshop 7.0 以前

Illustrator 10 以前

の全バージョン。製品版だけでなくアップグレード版でも適用されるという。同じアプリケーションのアップグレードだけでなく、それぞれを含む Creative Suite4 も対象としている。

「ダウンロード販売でパッケージやメディア不要」というだけで「エコ」と呼ぶのはあまり説得力がないが、植林や里山保全の財団に寄付するのは、十分「エコ」だろう。先行き不透明な CO2 関係の団体に寄付するより好感が持てる。

寄付する先は「C.W. ニコル・アフアンの森財団」という財団法人。C.W. ニコルといえば、ナチュラリストという側面もあるが、イギリス生まれカナダ育ちなのに「勇魚（いさな、鯨のこと）」という日本の歴史小説を書いた作家。もちろん日本語ではなく、英語で書いたものを翻訳している。現在は日本国籍を持っている。



今回の「エコキャンペーン」は、1つには旧バージョンからのアップグレードに乗り遅れたユーザーへの救済策という意味もあるが、やはりもう1つは今後のダウンロード販売への布石という意味でもあるのではないだろうか。

ダウンロード販売すると、販売価格が下がっても中間マージンは不要になり、利益率は向上する。さらにユーザーとの距離も縮まるので、アドビにとってはメリットは小さくない。流通を経由したパッケージ販売がなくなるとは思わないが、これからダウンロード販売の割合を大きくしたいと考えているためだろう。

なお、キャンペーンに申し込むには「エコキャンペーンお申し込み兼ソフトウェア廃棄に関する誓約書」を提出する必要がある。

◆アドビストア限定・エコキャンペーンのお知らせ
<http://www.adobe.com/jp/joc/store/eco/>

◆アドビストア
www.adobe.com/jp/joc/store/

10

Illustrator のリンク画像収集ソフト「DHT Image finder」

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.15

Illustrator ファイルを入稿するとき、トラブルの元になりやすいのがリンク画像です。PDF で入稿すれば画像は埋め込まれますが、Illustrator 形式や EPS 形式ではリンク画像も併せて入稿する必要があります。入稿だけでなく、別の OS 環境にファイルを移動しなければならないときも、リンク画像の添付は漏れやすいといえます。

リンク画像収集でトラブルをよく招くのは、同名のファイルで中身の異なる画像です。フォルダが異なれば、ファイル名が同じであって問題なく保存できます。画像を修正して同じ名前で別のフォルダに保存し、手動でリンクファイルを収集したときに、あやまって修正前の画像を収集してしまうことがあります。同名のリンク画像があると、Illustrator ファイルはそのまま開きますが、古い修正前の画像が貼り込まれてしまいます。

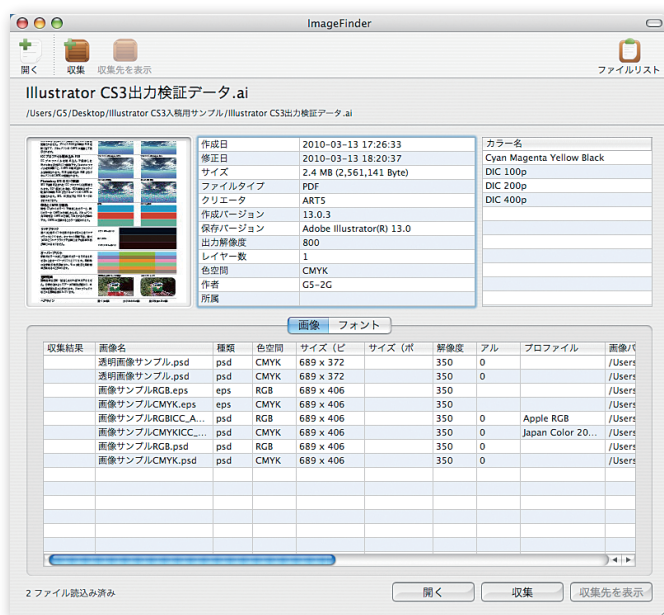
リンク画像の収集は、InDesign ではメニュー内に含まれていますが、Illustrator ではありません。以前のデータを流用する場合などでは、リンク先のディレクトリが煩雑になりトラブルを招きやすいものです。できれば、ソフトウェアで「自

動収集」するほうが賢明です。

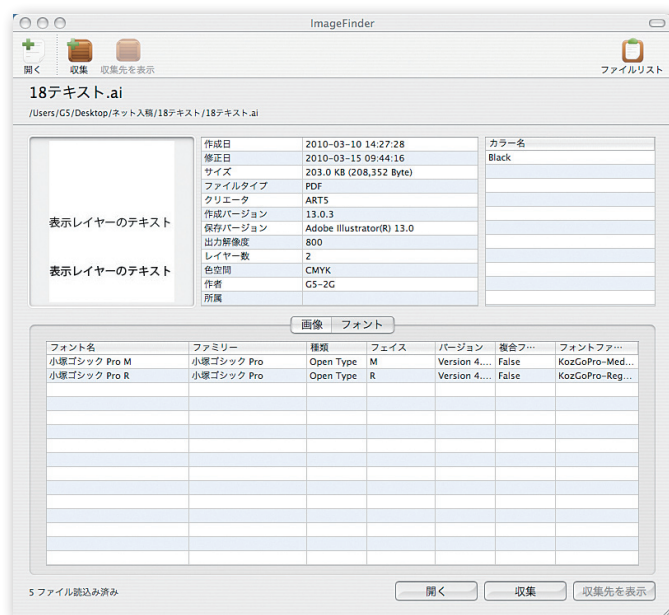
リンク画像の収集は、Illustrator のサンプルスクリプト内の「Collect for Output」という AppleScript を使うことで、簡単に収集可能です。あかつき@おばなさん「あかつき@おばなの DTP 稼業録」ブログにある「【Adobe Illustrator】配置画像を収集する」という記事に Illustrator CS2 までの使い方が解説されています。「Collect for Output」は CS3 にもあり、CS4 では「出力の修正」というフォルダ内に収録されています。

「Collect for Output」は便利なスクリプトですが、一旦ドキュメントを開いてスクリプトを起動する必要があります。入稿前の時間のないときは、重い Illustrator ファイルは開く時間さえ惜しいときがあります。そういう場合では、Illustrator を起動しなくてもリンクファイルを収集可能なソフトは便利でしょう。

たま（発売元の会社名です）の「DHT Image finder」は Illustrator ファイルを開かず、ウィン



*作成バージョン、保存バージョンだけでなく、特色や画像に埋め込まれた ICC プロファイルもリストされます。



*リストされたフォント。非表示レイヤーはリストされませ
ん。

ドゥにドラッグして「収集」するだけ。作成バージョン、保存バージョンもリストされます。ドキュメント内の特色もリストします。さらに、画像情報もリストできます。Illustrator でも画像に埋め込まれた ICC プロファイルさえもリストします。

フォントタブでは、ドキュメント内のフォントがリストされます。Illustrator ではテキストはアウトライン化して入稿するのが一般的ですから、ここでアウトライン化されていないフォントを確認することができます。なお、非表示レイヤー内のフォントはリストされません。テキストポイントのみのテキストもリストされないようです。テキストポイントのみのテキストについては、選択メニューの「余分なテキスト」で選択して削除しておきましょう。

対応バージョンは「CS～CS4」、OS 環境は「Mac OS X 10.4.8 以降（Windows 未対応）」で、ライセンスは 1 台の Macintosh につき 1 つとなっています。なお、機能制限のある試用版が用意されています。

なお、Mac OS X 環境の Illustrator のリンク画像収集ソフトには、「アートコレクター」という

ソフトも先行して販売されています。

PS. 「Collect for Output」は手軽にリンク画像は収集できますが、「0.jpg,」「00.jpg」「000.jpg」などファイル名に「0」だけの名前が使われているとき、すべてのリンク画像を収集できません。完全にリンク画像を収集したいときは、「DHT Image finder」や「アートコレクター」などのシェアウェアのソフトを使いましょう。

◆【Adobe Illustrator】配置画像を収集する [あかつき@おばなの DTP 稼業録]

<http://pocketdtp.blog16.fc2.com/blog-entry-116.html>

◆Illustrator のリンクをファイルを開かずに収集 - ソフト「DHT Image finder」 [マイコミジャーナル]

<http://journal.mycom.co.jp/news/2010/03/11/008/?rt=na>

◆DHT Image finder [たま]

<http://www.dht.jp/imagefinder/index.html>

◆アートコレクター (ver1.0.3) [goose]

<http://gooze.sakura.ne.jp/newSofts/ArtCollector/ArtCollectorMan/index.html>

11

**アドビ、Omniture (オムニチュア) SearchCenter の
最新バージョンを発表**DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.16

Adobe がネットビジネスに本格的に参入しようとしています。それが「オムニチュア」というサービスです。Flash や Dreamweaver はネットビジネスではないですね。パッケージ販売されるソフトウェアなので、コンテンツの制作ツールです。オムニチュアはネット広告検索結果の解析ツールです。

Adobe がオムニチュアを買収したのは、昨年(2009 年)の 9 月、買収額は 18 億ドルでした。18 億ドルというのは、Adobe の年間売上額の半分くらいですか。かなり高額な買収ですが、当然それ以上に価値があると判断したのでしょう。PC にインストールするパッケージ製品だけでは、今後のさらなる成長に赤信号がともっているのかもしれない。

オムニチュアというのは、簡単に言うと、検索内容の解析ツールです。Yahoo! や Google に広告を出稿するとき、もっとも重要なのが

コンバージョン率

です。広告代を払ってリンクがクリックされて、実際に申込みがあるかどうかのもっとも重要です。閲覧数(クリック数)に対する申込数がコンバージョン率です。

ただし、ネット広告は文字数が限られています。そうすると、どういうテキストのクリック率、コンバージョン率が高いのかはやってみないとわかりません。しかし単に広告を出稿しても、広告が有効かどうかはわかりません。1 つの広告では比較することもできないからです。

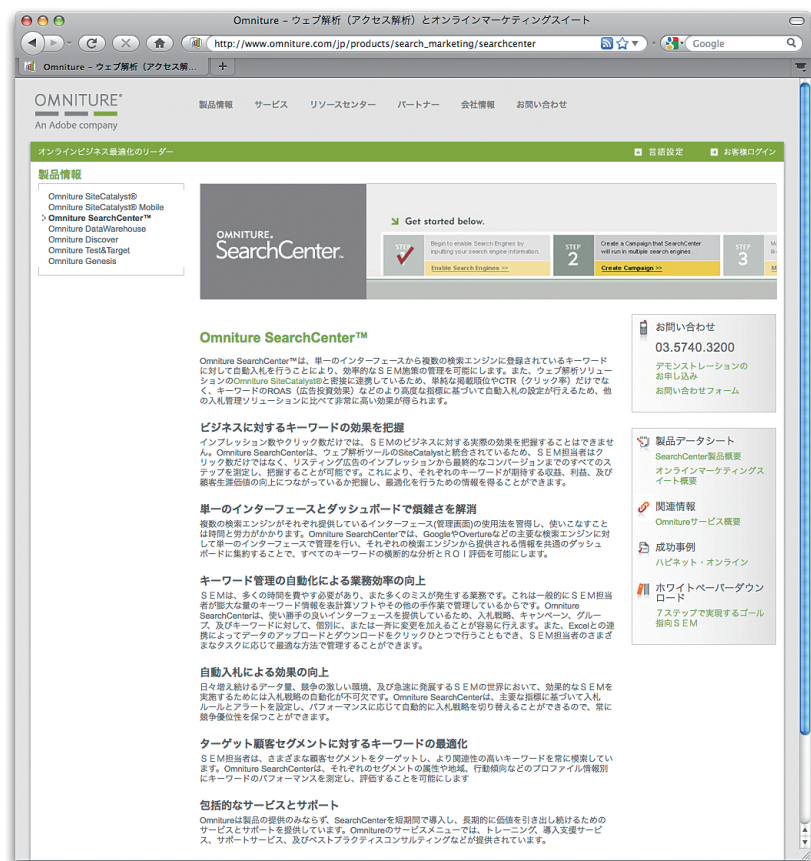
テキスト広告の有効率を調べるためには、テス

トを行います。複数のテキストを用意して、少額の広告費でテストします。A/B テストともいいますが、要するにコピーライティングのプロがキャッチコピーを書いても、クリック率の高いテキスト、コンバージョン率の高いテキストはわからないのです。そこでテストして調べるしかないわけです。

広告のテキストだけでなく、広告を出稿するキーワードもコンバージョン率が高いキーワードは誰にもわかりません。単純なビックキーワードで広告を表示させると、確実にコンバージョン率は下がります。コンバージョン率を上げるには、複数のキーワードを組み合わせで出稿する必要があります。しかし複数のキーワードの組み合わせはいくらでも作れます。どの組み合わせが効率的でしょうか。

商品をよく理解していれば、直感である程度はキーワードの組み合わせを絞り込むことができるでしょう。しかし本音を言えば、お客さんが何を考えているのかは「わからない」というのが本当のところではないでしょうか。直感だけでは効率的なキーワードを知ることとはできません。これもいろいろと出稿してテストして調べるしかないのです。

しかしテストするのは結構面倒です。テキスト広告を使い分けるのも、出稿するキーワードを管理するのも大変です。そこで登場したのがオムニチュアというソフトです。クリックした閲覧者の履歴などをデータベース化して解析するわけです。そのなかで、もっとも効率的なテキスト広告とキーワードを見つけていくというわけ。簡単に言うとオムニチュアは



＊ Adobe が買収した Omniture SearchCenter のサイト。PPC 広告（リスティング広告）での投資効率を計測するためのシステムで、テキスト広告とコンバージョン率から最適の PPC 広告を探る。

ネット広告出稿支援ツール

ということです。

Adobe の買収前からオムニチュアは日本でも使われていて、これまでに

花王株式会社
株式会社千趣会
日本放送協会
楽天株式会社、
株式会社リクルート（五十音順）
など 300 社以上の導入実績

があるそうです。最近ではトヨタ自動車も導入したとか。パッケージ製品ではないので、価格はクライアントに応じて個別の見積りとなるようです。また、Test & Target は、mbox の閲覧回数による従量課金制のよう（Adobe 買収前の記事ですけどね）です。

このうち、検索キーワードだけでなく、コンバージョン率の高いページのみに出稿するというようなことになるかも。アドワーズのコンテンツマッチでは検索ページ以外にも広告を表示します。広告の内容にマッチさせて表示しても、コンバージョン率の高いサイトとそうでないサイトはあるでしょう。そのうちそういう違いも反映していくようなツールになるかもしれませんね。

◆ Omniture SearchCenter [アドビシステムズ]
http://www.omniture.com/jp/products/search_marketing/searchcenter

◆ 閲覧者はどちらが好き？ オムニチュアが A/B テストの新アプリ [＠ IT 情報マネジメント]
<http://www.atmarkit.co.jp/news/200901/21/omniture.html>

『これだけでできる印刷用 PDF 作成ハンドブック』は、Creative Suite 2 までしか対応していませんでした。CS3 以降、どの程度使われているのかわからなかったのも、少し及び腰でした。Mac Fan 2010 年 1 月号のアンケートなどを見ると、けっこう使われていそうな感じです。そこで、Illustrator CS3 のハンドブックを作成しました。

基本的には『これだけでできる印刷用 PDF 作成ハンドブック』の CS/CS2 をベースに作成し直しました。テキストを少し変えてショットを入れ替えました。CS2 以降は PDF 保存時にトンボを追加して書き出すことができます。また逆にいままで通りにトリムマークを指定することもあります。今回は、その両方に対応してハンドブックを作成しました。

CS3 では新規にドキュメントを作成するときに、カラーやラスタライズ効果設定を指定できるので、けっこう便利になっています。ですからそれ以外で使ってはいけないものをチェック項目に上げました。

塗り設定だけの線

埋め込みできないフォント

オーバープリント

特色

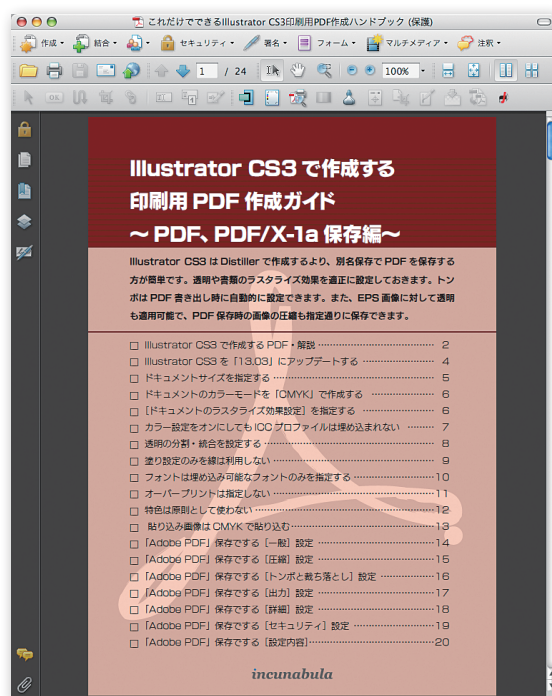
RGB の貼り込み画像

プロファイル埋め込みの貼り込み画像

などです。オーバープリントなどは、プロセスカラーの印刷物は Illustrator 上で一切せず、出力機や Acrobat でする方が確実なので、「禁止」項目に入れました。墨ベタ以外にオーバープリントしたい場合は、けっこう特別な場合なので、フォントをアウトライン化するように、原則禁止でい

いのではないかと思いますね。

また PDF 書き出しでは、PDF だけでなく、PDF/X-1a で書き出す場合の違いにもすこし触れています。PDF/X では「PDF/X-1a:2001 (日本)」を選択して、少しだけカスタマイズします。圧縮、トンボと裁ち落としなどです。あとは「プレス品質」とほとんど同じ設定で書き出せます。



Illustrator CS4 についてもハンドブックを作成する予定ですが、マルチページの処理が複雑なので、別にした方がいいのかもしれませんが。CS3 版やっとできましたが、フリーダウンロードにします。こちらからお申込みください。なおプリントはできますが、解像度を制限しています。

◆無料の『これだけでできる Illustrator CS3 印刷用 PDF 作成ハンドブック』はこちら

http://www.incunabula.co.jp/book/illustcs3_HB/

13

Illustrator CS3、グレースケール変換で等幅文字は標準字形に戻る？

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : Illustrator トピック : 2010.3.23

Illustrator CS3 の不具合として知られるものに、一部の切り換え字形を使って、編集メニューの [カラー編集] からグレースケール変換したり彩度調整を行うと、標準字形に戻るというものがあります。

問題は「等幅字形のテキストに [カラーを編集] を適用すると標準字形に戻る (Illustrator CS3)」という TechNote に記載されています。標準字形に戻ってしまうのは

等幅半角字形

等幅三部字形

等幅四分字形

旧字体

をドキュメントで指定したときで、Adobe の TechNote の最終更新日は「2009-12-17」となっています。Illustrator CS3 の最終アップデートは「13.0.3」で、リリース日は「2008-02-29」ですから、アップデート後に見つかった不具合ということでしょうか。



* TechNote にアップされている問題のショット。

ネット上にはこの問題の TechNote を取り上げた記事がいくつもありますが、実際に検証して「証拠」をアップしている記事を見つけることはできませんでした。それで実際に等幅字形を入力して

みて、グレースケールに変換してみました。字形はそのまま。葛飾の「葛」の旧字形も、標準字形に戻ることはありませんでした。

対象となるプラットフォームは、Macintosh と Windows の両方なので、TechNote 通りであれば、再現するはず。しかし解決方法を読むと、

字形パネルから直接入力します。

と書かれています。ということは字形パネルから入力した場合は、標準字形に戻ることはないということでしょう。

しかし等幅字形というのは、字形パネルからしか入力できないのではないのでしょうか。字形パネルの [表示] で「等幅三部字形」や「等幅四分字形」を選んで入力する以外の入力方法はあるのでしょうか。

Illustrator CS3 でテキストを入力する方法は、おそらく5つです。

ダイレクトに入力

字形パネルから入力

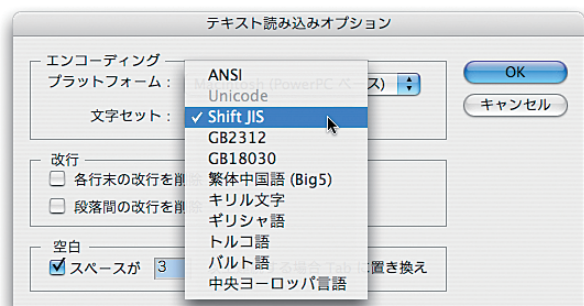
インプットメソッドの文字パレットで入力

クリップボード経由でペースト

配置してペースト

ダイレクトに入力する場合は、等幅字形や旧字形を入力するのはまず無理でしょう。またインプットメソッドでも、数字の等幅字形は標準字形と同じユニコードに割り当てられていて、ATOK の文字パレットから Illustrator CS3 には入力できませんでした。クリップボード経由でも、クリッ

ブロード経由にコピーしたときに標準字形に戻るはずですが、配置メニューからテキストファイルを読み込んでも、旧字体は読み込みませんでした。Illustrator CS3 では、配置メニューではユニコードを選択できず、日本語で指定できるのはシフト JIS です。



* Illustrator CS3 から配置メニューで開いたときの「文字セット」リスト。

ということは、カラーを編集すると等幅字形が標準字形に戻るという問題は、どのようにして等幅字形を入力したときに発生するのでしょうか。TechNote にはそのあたりの詳細が記載されておらず、検証が十分でないままアップされたのかもしれない。ひょっとすると、最新バージョンで解決されているにもかかわらず、対象のバージョンを記載せずに掲載されているのかもしれない。

というわけで詳細がわからない以上、Illustrator CS3 でカラードキュメントをカラー編集の「グレースケールに変換」で強制的に変換するときは、テキストを先にアウトライン化しておく方が安全かも知れません。できれば TechNote には、バージョンの記載と、問題が発生する入力方法を追加して欲しいものです。

◆等幅字形のテキストに「カラーを編集」を適用すると標準字形に戻る (Illustrator CS3) [Adobe サポート]
<http://kb2.adobe.com/jp/cps/234/234405.html>

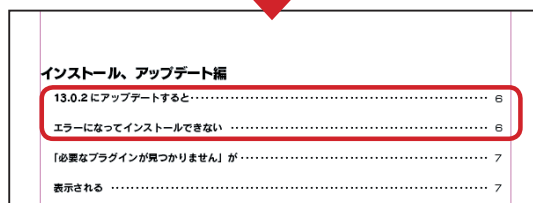
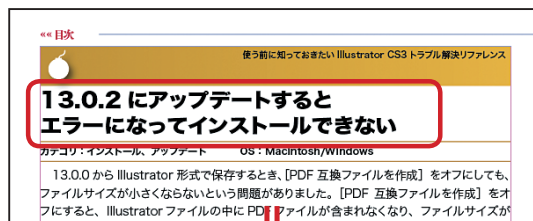
14 InDesign、2 行の目次用段落テキストを 1 行で目次にする方法

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : InDesign トピック : 2010.3.24

InDesign がけっこう便利なのは、目次機能。今回も目次機能を取り上げたい。目次機能はほとんど進化しておらず、使いやすくない。たとえば、本文ページで 2 行で表示されているテキストを、目次では 1 行にしたい場合はどうすればいいのだろうか。

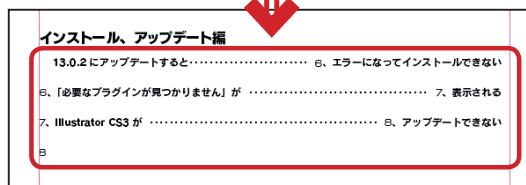
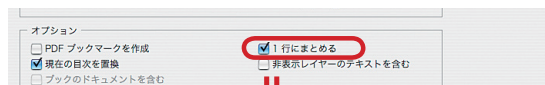
トピックの見出しのテキストはわかりやすくするために、長めのテキストにすることが多い。以前、編集を担当頂いた編集者の方から、見出しだけを読めば本文を読まなくてもわかるようにしてくれと言われて以来、できるだけ見出しでの説明を長くするようになったからだ。

トピック見出しを長くすると、1 行では納まらなくなる。2 行にするときには、改行しやすそうな場所でリターンキーを押すことになる。そうすると、トピック見出しで使用した段落スタイルを目次に流用しようとすると、目次も 2 行になってしまうのだ。



*テキストを改行すると 1 行ごとにノンブルが付いてしまう。

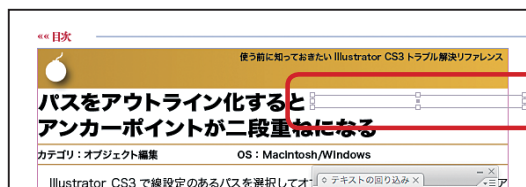
目次のウィンドウでは「1 行にまとめる」という設定があるが、ここをチェックしても、階層単位で 1 行になるので見出しテキストだけを 1 行にすることができない。



*「1 行にまとめる」をチェックすると、同じ階層のテキストがすべて 1 行になってしまう。

いままでは目次用に別にテキストを作成して、ページ上において使っていた。テキストの塗りも線もなしにして目次で割り当てるための段落テキストを用意するのである。こんな方法だと、段落スタイルの数ばかりが増えてしまう。ドキュメントが複雑になって使いにくいことこの上ない。

そこで思いついたのが、2 行になる段落スタイルを改行せず 2 行にする方法である。テキストを改行しなければ、目次には 1 行で取り込まれることになる。つまり改行以外の方法で、テキストを改行すればいいのである。その方法はテキスト回り込み用オブジェクトを配置するという方法。改行位置に塗りも線もないオブジェクトを配置し、テキストの回り込みで「境界線ボックスで回り込む」を選択しておく。そうすると、オブジェクトの位置でテキストは改行されるのである。



*塗りも線もなしのオブジェクトで強制改行する。

なんだ思いつくと簡単じゃん、なぜいまでこんな簡単な方法が思いつかなかったのか。この方法であれば目次用にテキストを作成する必要はない。オブジェクトを配置するのはテキストの改行より面倒だが、当分この方法を使うことにしよう。

最新ニュースピックアップ 2010.03

デジタルサイネージ用のコンテンツを本部で統一して管理するシステムが「サイネージスタジオ (Signage Studio)」。

共同印刷とパナソニックのグループ会社の取り組みです。これからは異業種でタッグを組むことは当たり前になるかも。

◆地域別のチラシとデジタルサイネージを中央で簡単に作成管理する「サイネージスタジオ」開発共同印刷 [テックインサイトジャパン]
<http://japan.techinsight.jp/2010/03/sanada201003062306.html>

NTT がフルカラー複合機を発売するようです。性能は 2400dpi でカラー毎分 50 枚／モノクロ 65 枚（いずれも A4 ヨコ）。オンデマンド印刷機の競争はさらに過激になりそう。

◆NTT 東西、出力 2400dpi / カラー毎分 50 枚のフルカラー複合機を発売 [キーマンズネット]
<http://www.keyman.or.jp/3w/prd/24/20028924/>

大日本印刷が再来年までに年商で 5 億円を目指すキャッシュカードに埋め込むワンタイムパスワード発行ツール。トークンより持ち運びが便利なのは確かでしょうね。そのうち、ボタンを押すだけでなく、簡単な暗証番号を入力してワンタイムパスワード発行するようになるかも。

◆ワンタイムパスワード表示できるキャッシュカード [ITmedia]
<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1003/05/news066.html>

PDF をインフォディアスのサイトにアップすると無料でページめくり機能の付いたデジタルブックが作成されます。ただし、別サーバに移動したり、外部リンク、サムネイルインデックスはオプションのようです。

◆インフォディアス、無料でデジタルブックが作れる簡易サービス「adjustbook.com」を開始「Yahoo! ニュース」
<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100312-00000024-rbb-sci>

iPhone でマルチタスクに曙光が ...。脱獄せずに、マルチタスク早く実現して欲しいものです。

◆アップル、iPhone 4.0 でマルチタスクをサポートか -AppleInsider 報道 [CNET Japan]
<http://japan.cnet.com/mobile/story/0,3800078151,20410316,00.htm>
◆Apple、iPhone OS 4.0 でついにマルチタスクに対応? [ITmedia]
<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1003/12/news037.html>

iPad の発売当初の販売数が、iPhone を越えるそうです。また、新聞、雑誌、出版社などの印刷されたメディアとは協議が進んでおらず、iPad 発売日までにはあまり期待できそなそうです。新しい革袋には新しい酒をという話になりそうですね。

◆米アップル、iPad の発売に向けてコンテンツの契約を急ぐ
http://jp.wsj.com/Business-Companies/Technology/node_43347

日本語に対応していない Kindle ですが、画像にしていまえば問題なし、というわけで創刊されたのが「想隆社文庫」というわけ。見本は縦組みで組まれています。

◆Amazon Kindle で日本語のコンテンツが読める! 日本語電子書籍「想隆社文庫」創刊! 一般向けおよび図書館向けに提供を開始
<http://www.atpress.ne.jp/view/14142>

[DTP コンテンツワークフローマンスリー] 創刊準備号 April .2010

発行 2010 年 4 月 22 日
編集人 上高地 仁 (文責)
発行人 田中 清
発行所 有限会社 インクナブラ
〒579-8024 大阪府東大阪市南荘町 8-29-901 号
TEL:072-974-5272 FAX:072-951-7385

©2010 by Jin Kamikochi

本書の内容の一部もしくは全部を著作権法の定める範囲を超え、有限会社インクナブラおよび著者に無断で複製、複写、転載することはご遠慮下さい。無記名記事の文責はすべて上高地仁にあります。

本書の内容に関するお問い合わせもしくは質問は、E メール (incun@incunabula.co.jp) もしくは文書で、小社までお問い合わせください。

[DTP コンテンツワークフローマンスリー] はインクナブラ発行の月刊情報誌です。DTP-S や DTP-S プログに掲載された記事を中心に月刊で PDF として編集し、DTP-S 倶楽部、DTP コンテンツワークフロー研究会の会員に配布しています。会員外にも PDF 版を配布していますが、一般に公開している [DTP コンテンツワークフローマンスリー] はプリントアウトに制限がかかっています。プリント制限のない PDF 版は DTP-S 倶楽部、DTP コンテンツワークフロー研究会にご入会いただくとダウンロードできます。